

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 8 月 10 日

上場会社名 株式会社誠建設工業

（コード番号：8995 大証第二部）

（URL <http://www.makoto-gr.com/>）

代表者 代表者役職・氏名 代表取締役社長 小島 一誠

問合せ先 責任者役職・氏名 専務取締役 中村 剛司 TEL：(072) 234-8410

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・法人税等の計上基準については簡便な方法を使用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（金額の表示：百万円未満切捨）

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 1 四半期	1,491	-	63	-	55	-	21	-
18 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)18 年 3 月期	8,112		758		643		355	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 1 四半期	1,043	87	-	-
18 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-
(参考)18 年 3 月期	19,978	52	-	-

(注) 前年同四半期の数値に関しましては、四半期決算を実施しておりませんので記載を省略しております。

売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

期中平均株式数 19 年 3 月期第 1 四半期 20,120 株

18 年 3 月期 17,787 株

潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期のわが国の経済は、原油高の動向や金利上昇懸念など不安定な要素はあるものの、企業収益の改善を背景に、設備投資の増加や個人消費の持ち直しなど、景気は回復基調となりました。不動産業界におきましては、依然、マンションの大量供給や事業用地の取得競争の激化などが続き、住宅ローン金利の上昇気配もあり、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況下のもと当社グループの平成19年3月期第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）の経営成績は、戸建分譲住宅事業、不動産仲介事業とも概ね当初の計画どおり推移した結果、売上高1,491百万円、営業利益63百万円、経常利益55百万円、四半期純利益21百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 た り 純 資 産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第1四半期	4,955	1,892	38.2	94,074	31
18年3月期第1四半期	-	-	-	-	-
(参考)17年3月期	4,946	1,965	39.7	97,686	25

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

第1四半期末における総資産は、4,955百万円（前連結会計年度末4,946百万円）となり、前連結会計年度末に比べ9百万円の増加となりました。主な要因は、投資有価証券の時価の下落により投資その他の資産は320百万円（前連結会計年度末406百万円）となり前連結会計年度末に比べ85百万円減少いたしました。また、建売用地の仕入によるたな卸資産の増加等により流動資産が3,985百万円（前連結会計年度末3,900百万円）となり前連結会計年度末に比べ84百万円増加したこと及び展示場である「住まい館・向陵店」の建築等による固定資産の増加等によるものです。

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期における業績は、概ね当初の計画どおり推移しており、受注及び受注残高の推移からも平成18年5月11日発表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。